

東京大学総合研究博物館 スクール・モバイルミュージアム

—— はやぶさ2、探査始動! ——

黒い  
小惑星  
リュウグウ

2018.11.17.sat. — 2019.3.30.sat.

開催場所 文京区教育センター2階 大学連携事業室

9:00 — 17:00 入場 16:30 まで [ ㊟日曜祝日 12/29-1/3 ] 入場無料

# —— 最も黒い小惑星を知っていますか？ ——

それは小惑星探査機「はやぶさ2」が調査中の「リュウグウ」というC型小惑星です。太陽系の進化や生命の起源を解き明かす手がかりがあるかもしれない、謎に満ちた星です。

2014年12月3日、「はやぶさ2」は種子島宇宙センターから打ち上げられ、2018年6月27日に「リュウグウ」に到着しました。「はやぶさ2」の主なミッションは「リュウグウ」の土壌を持ち帰ること（サンプルリターン）です。

「はやぶさ2」から受け取ったデータにより、「リュウグウ」は岩塊で表面が覆われていることが分かりました。そもそも「リュウグウ」は“黒”く、小さいので、形状や表面の状態など、遠方からではその細部まではわかりません。

つまり、実際に行って見なければわからないということです。

この展示では「はやぶさ2」に関する研究成果を、特に小中学生を含めた若い世代に肌身で感じてもらいたいと考えています。

# 黒い小惑星 リュウグウ

## 「黒い小惑星」の再現

「はやぶさ2」が行くまで、「リュウグウ」の形は誰にも分かりませんでした。

しかし、「はやぶさ2」の探査によりその詳細な姿が明らかになりつつあります。

この展示では、現段階で最高精度のデータを駆使し、直径約2mのスケールで「リュウグウ」を再現しました。

そして光を遮断した真っ暗な展示室内では、宇宙空間に浮かぶ「リュウグウ」の姿を目の前に感じることができます。

今この瞬間も「はやぶさ2」が探査を続ける「黒い小惑星」に、思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



Image credit : JAXA、東京大、高知大、立教大、名古屋大、千葉工大、明治大、会津大、産総研

**ギャラリートーク** 学生や研究者が簡単な説明を行い、質問に答えます。

11.17.sat | 12.26.wed | 2.23.sat | 3.16.sat 10:30-11:30

開催期間 2018.11.17(土)–2019.3.30(土)

開催場所 文京区教育センター（東京都文京区湯島 4-7-10 2F 大学連携事業室）

連絡先 03-5800-2591

開館時間 9:00–17:00（入場は16:30まで）

休館日 日祝・12/29–1/3

入館料 無料

アクセス 地下鉄千代田線「湯島」駅より徒歩8分

地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩10分

◆主催/東京大学総合研究博物館 ◆共催/文京区教育センター・東京大学工学部システム創成学科・東京大学宇宙惑星科学機構(UTOPS) ◆協力/東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻・宇宙ミュージアム TeNQ・宇部協立産業株式会社・吉澤石灰工業株式会社・三信鉱工株式会社（愛知県北設楽郡東栄町）・株式会社ハタナカ昭和 ◆URL / <http://www.bunmkyo-tky.ed.jp/ed-center/>

